



「な…生意気なま●こしやがって…っ♡
おお…う…ち●ほ溶け…溶けるう…♡」

「な…何をしているのか
分かってている…の…ですか…っ!？」

「風紀の乱れを指導してるだけだぞ…氷川(笑)」

「風紀の…乱れ…?
な…何を言ってる…んぎっ!？」

「お前がどれだけ風紀を
乱してるのか分かっていないのか…♡」

「わ…たしが…乱して…?
そんな…ひぎッ…ぐっん…ん!!」

「ま●この締め付け…ヤバイ…♡
さらに風紀を乱すつもりなのか…氷川…♡」

「やめ…やめ…っ!!」

「ふ…ヤバ…ヤバイ…もう…!!
種付け!!種付けイクぞっ氷川!!」





「だ…駄目…駄目っ!!」

「おいおい氷川♡
種付けで何をされるか分かるのか?」

「それ…それだけはっ!!
それだ…んぎいいいいっ!!」

「く…ああ…さらに締まりが…っ♡
どれだけ…風紀を…乱すつもりだ…氷川あ…♡」

「やめ…やめ…うぐ…ぐ!!」

「腰…腰が…止まら…ああっ♡
い…いい加減にしる氷川…風紀を乱すな…あ…♡」

「た…助け…誰…だれか…っ」

「ぐおおおおいくぞっいくぞ氷川!!
初モノま●こ種付けいくぞおおおっ!!」





「孕めっ氷川ま●こ孕め!
先生の赤ちゃん孕めえええっ!!」

「嫌っ嫌ああああアアあっ!!」

「射精…止まら…止ま…おお♡
先生そっくりの赤ちゃん…孕め氷川あ…♡」

「や…ああ…あ…」

「はあ…はあ…初モノ…最高う…♡」

「やあ…赤ちゃん…なんて…」

「ふ…何て顔をするんだ氷川…♡
まだ風紀を乱すつもりなのか?♡
これはもっと厳しい指導が必要だな♡」



「いや…赤ちゃん…ひぎっ!」

「それじゃ子宮口ガン突き指導いくぞ氷川♡」



「おねだり…ヤバイ…
い…いっになれば
風紀を正すんだ…氷川…」

「ふっ♡
んっ♡
ふっ♡
っ♡」

「根元から…ギチギチと…
種汁搾り取ろう…と…♡」

「このおねだりは何だ白金!?
風紀を乱すなと言ってるだろうがっ!!」

「ひやめ♡ひやめ♡
ひゃ♡ひゃあぁっ♡」

「お…いつもより
気合い入ってますねえ先生(笑)」

「ふ…今日の白金は
特別風紀を乱し…おお…♡」

「いや…最近の生徒達は
風紀の乱れが酷く本当に困りま…ぐっ…!!
ったく…言ったそばから…氷川あ…♡」

「動かひゃ…いへ…♡
あ…あひやま…壊へ…♡」

「ふ…♡
まったく反省の色がないな氷川♡
それじゃ子宮口ガン突き指導いくぞ♡」

「い…ひゃ…あ♡
そ…それ…ひゃけ…は…♡」

「ごっちも
子宮口ガン突き指導いくぞ…白金…♡」

どろろ
どろろ

びび♡

びび♡





「ぐおおおお反省しろ氷川あ!!」

「くひやああああアアあ♡♡♡」

「ち●ほ溶かそうと…必死に…」

「おっ♡おぐ駄ふえ♡
おぐ駄ふええええ♡」

「おねだり激しくなって…♡
ど…どれだけ…
風紀を乱せば…
気が済むんだ氷川…♡」

「乱ひてっ♡
みっ♡乱ひてひゃい♡
乱ひてなんっあああっオオあ♡」

「反省どころか言い逃れか♡
先生もナメられたもんだなあ♡」

「んひいひいああ♡
あひやま壊へ♡壊へああっお♡」

「白金…なんだこのおねだり…は…♡
先生の…ことを…馬鹿にしてるか…♡」

「壊へ♡壊へ♡壊ふえる♡
あっ♡あひやま壊へおっああオ♡」

「あああっ種汁上がって…っ!!
イクぞっ種付けイクぞ氷川っ!!
子宮口にびっちり突けて種付けイクぞ!!」

「こ…こっちも種付けイクぞ白金…っ!!
子宮口にびっちり押し付けて…イクぞお…!!」

「いひやああああ♡
それひやめ♡ひやめえええっ♡」

ぐちゃぐちゃ
ぐちゃぐちゃ
ぐちゃぐちゃ



「あひやま壊ふえるうづうづう♡♡」

うお♡オツおお♡あお♡

あっ♡オっあぁアお♡

「お……お……♡
子宮口指導いくぞ白金……♡」

「あひい い い い い」♡

グリグリして…え…♡
 どうだあ…氷川…？
 反省する気になったか…？」

「ぐりぐりひないへ♡
で♡出ひゅ♡出ひゅがら♡」

ひゃああつ出ひゅ♡
出ひゅ出ひゅづづづづッ♡

「うお……っ!!」
先生達にぶっかけするとは……(笑)

「おお——オ……♡
ん……おお……オ……♡」

おーおー
おーおー

「揃いも揃って反省の色なしとはな……」

ふう——ここまで
手のかかる生徒は始めてだな♡」

